令和6年度　年間授業計画

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅱ　　単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	書Ⅱ（光村図書）
	補助教材：	なし

教科（　芸術　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（　書道Ⅱ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。☒
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。☒
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。☒

令和6年度　年間授業計画　科目（　書道Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	単元　泰山刻石 ［教科書P.12-13］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	臨書を通して，小篆の点画の特徴を理解し，それを表現するための用筆・運筆の技法を習得できるようにする。	篆書について、泰山刻石の臨書					篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	泰山刻石の表現技法に関心をもち，その美を味わおうとしている。鑑賞を通して「泰山刻石」の書風や特徴を理解し，臨書に生かすことができるようにする。	教科書等					篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	篆書の発展について，時代背景や発生の必然性に関心をもち，その美を味わうことができるようにする。	作品の記録をする					主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。				
	単元　泰山刻石 ［教科書P.12-13］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	臨書を通して，小篆の点画の特徴を理解し，それを表現するための用筆・運筆の技法を習得できるようにする。	篆書について、泰山刻石の臨書					篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	泰山刻石の表現技法に関心をもち，その美を味わおうとしている。鑑賞を通して「泰山刻石」の書風や特徴を理解し，臨書に生かすことができるようにする。	教科書等					篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	篆書の発展について，時代背景や発生の必然性に関心をもち，その美を味わうことができるようにする。	作品の記録をする					主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。				
	単元　篆刻	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	朱文印の制作手順を理解する。 書体や書風，配字による表現の効果を理解して，感興や意図に応じて構想を練ることができるようにする。	篆刻について					篆書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	篆刻に関心をもち，制作に主体的に取り組んでいる。書体や書風，配字による表現の効果を理解して，感興や意図に応じて構想を練ることができるようにする。	教科書等					篆書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	篆刻の技能を習得し，個性的に表現させることができるようにする。	作品の記録をする					主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。				
	単元　乙瑛碑 ［教科書P.20-21］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	漢字の書を構成するさまざまな要素や、隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解することができるようにする。	隷書について、乙瑛碑の臨書					漢字の書を構成するさまざまな要素や、隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫することができるようにする。	教科書等					隷書の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫できる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組むことができるようにする。	作品の記録をする					主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組むことができる。				

令和6年度　年間授業計画　科目（　書道Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 漢仮	領域 漢	領域 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元　十七帖 ［教科書P.26-27］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解することができるようにする。	草書について、十七帖の臨書					漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	「十七帖」の表現技法に関心をもち，その美を味わおうとしている。草書の特徴を捉え，基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解して臨書することができるようにする。	教科書等					点画の省略や柔らかく丸みのある転折，線の太さの変化，点画の連続を確認できる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	「十七帖」を分析して，その美を感じ取ることができるようにする。	作品の記録をする					草書の特徴を捉え，基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解して臨書している。臨書を通して，点画の省略や連続の特徴を理解し，それを表現するための用筆・運筆の技法を習得することができる。				
	単元　十七帖 ［教科書P.26-27］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解することができるようにする。	草書について、十七帖の臨書					漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	「十七帖」の表現技法に関心をもち，その美を味わおうとし、また草書の特徴を捉え，基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解して臨書することができるようにする。	教科書等					点画の省略や柔らかく丸みのある転折，線の太さの変化，点画の連続を確認することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	「十七帖」を分析して，その美を感じ取ることができるようにする。	作品の記録をする					草書の特徴を捉え，基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解して臨書している。臨書を通して，点画の省略や連続の特徴を理解し，それを表現するための用筆・運筆の技法を習得することができる。				
	単元　書譜 自叙帖 ［教科書P.28-29］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	鑑賞・臨書を通して「書譜」「草書諸上座帖巻」の書風や構成の特徴を捉え，書風に即した用筆・運筆を工夫することができるようにする。	書譜について、半切2分の1の作品制作					漢字の書を構成するさまざまな要素や、草書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	書譜の文字の大小や変化に富んだ字形による自由闊達な書風を鑑賞するとともに、「書譜」「草書諸上座帖巻」の線質，字形，全体構成の違いを理解することができるようにする。	教科書等					点画の省略や柔らかく丸みのある転折，線の太さの変化，点画の連続を確認することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	書かれた時代や書き手の個性による草書の多彩な表現を感じ取ることができるようにする。	作品の記録をする					草書の特徴を捉え，基本的な点画や線質の表し方と用筆の関係を理解して臨書している。臨書を通して，点画の省略や連続の特徴を理解し，それを表現するための用筆・運筆の技法を習得することができる。				
	単元　近現代の書を味わおう ［教科書P.48-49］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	表現のねらいに基づいて構想を練り，これまでに学習した書体・書風や紙面構成，用具・用材に関する知識・技能を生かして，工夫して表現することができるようにする。	近現代の書について					漢字の書を構成するさまざまな要素について理解できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	作品のテーマと書風の関連性を意識し，表現のねらいに対する技法上の工夫とその効果を的確に捉え，創作の構想に生すことができるようにする。	教科書等					表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	表現の工夫によって，多彩な書の表現が生まれることを理解し，古典の書風と表現例を関連づけて分析することができるようにする。	作品の記録をする					古典を通して学んだ各書体の表現技法や紙面構成を表現に生かすとともに、互いに作品を鑑賞し合い，表現や紙面構成のよい点を認め合うことができる。				

令和6年度　年間授業計画　科目（　書道Ⅱ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 漢仮	領域 漢	領域 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元　高野切第一種　［教科書P.54-57］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	鑑賞・臨書を通して「高野切第一種」の書風の特徴を捉え，連綿や墨継ぎなど，書風に即した用筆・運筆を工夫することができるようにする。	仮名・線の復習、高野切第一種の臨書					連綿の基本である形連，意連を確認した上で高野切第一種を鑑賞し，連綿と墨継ぎによる表現の美を感じ取ることができる。連綿の特徴と墨継ぎによる変化のつけ方を理解し，書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	連綿の基本である形連，意連について確認する。「高野切第一種」を鑑賞し，連綿と墨継ぎによる表現の美を感じ取ることができるようにする。	教科書等					連綿の特徴と墨継ぎによる変化のつけ方を理解し，書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	「高野切第二種」「針切」「香紙切」を分析して，古筆の多彩な美を感じ取ることができるようにする。	作品の記録をする					古筆の鑑定について興味・関心を深めようとすることができる。				
	単元　高野切第一種　［教科書P.54-57］	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	鑑賞・臨書を通して「高野切第一種」の書風の特徴を捉え，連綿や墨継ぎなど，書風に即した用筆・運筆を工夫することができるようにする。	仮名・線の復習、高野切第一種の臨書					連綿の基本である形連，意連を確認した上で高野切第一種を鑑賞し，連綿と墨継ぎによる表現の美を感じ取ることができる。連綿の特徴と墨継ぎによる変化のつけ方を理解し，書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	連綿の基本である形連，意連について確認する。「高野切第一種」を鑑賞し，連綿と墨継ぎによる表現の美を感じ取ることができるようにする。	教科書等					連綿の特徴と墨継ぎによる変化のつけ方を理解し，書風に即した用筆・運筆を工夫して臨書することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	「高野切第二種」「針切」「香紙切」を分析して，古筆の多彩な美を感じ取ることができるようにする。	作品の記録をする					古筆の鑑定について興味・関心を深めようとすることができる。				

合計
70